

群馬県内小・中学校教師の「総合的な学習の時間」 の成果と見直しに関する意識調査の結果と考察

調査概要

1 調査目的

群馬県内小・中学校における「総合的な学習の時間」の実施状況や成果と見直しに関する実態調査の基礎資料と質問項目の作成のために、事前の予備調査として、県内小・中・養護学校教師が、この時間の成果や見直しについてどのような意識を抱いているかを調査した。

2 調査内容

「総合的な学習の時間」で育てたい資質・能力、評価の観点、評価方法の設定に関すること

「総合的な学習の時間」の実施による児童生徒の学習成果と教師の教科等経営の質的な変化に関すること

「総合的な学習の時間」の見直しに関すること

3 調査対象

対象者：当センター研修員144名（長期研修員38名、特別研修員106名）

在籍、地籍校種内訳：小学校94名（内担外22名）、中学校49名、養護学校1名（中等部）

4 調査方法

質問紙法によるアンケート（選択肢及び、自由記述）

5 調査期日

平成15年6月4日（金）

群馬県総合教育センター 産業科学グループ
総合的な学習の時間 班
指導主事 高張 浩一 宮内 光一
武 倫夫 川島 一秀
長期研修員 清水 克則